

特集

「つばめ」という名が紡ぐ縁。

東京ヤクルトスワローズと燕市の交流・連携事業



東京ヤクルトスワローズのマスコットキャラクター「つば九郎」。2013年に就任した、燕市PR隊鳥（長）として、イベント出演や燕市のPR活動を積極的に行うなど大活躍。市のイメージアップに貢献しています。

キッカケは、
2010年の出来事

2010年9月、明治神宮野球場で開催されたプロ野球公式戦において、新潟県観光協会が「うまさぎつしり新潟DAY」を実施しました。

その際、燕市はホームラン賞として燕市産コシヒカリ「飛燕舞」と「燕市産金属洋食器」を選手にプレゼントしたほか、来場者へも「飛燕舞」などを販売しました。それが、ファンや球団関係者の目に留まり「つばめが高空を高く舞うイメージで縁起がいい」と評判になり、東京ヤクルトスワローズと燕市の「つばめ」という名の「縁」が繋がったきっかけになりました。

翌年から燕市の「イメージアップ」「ファンづくり」を目的として、交流・連携事業が本格的にスタートしました。



▲飛燕舞のパッケージ

子どもたちの成長とスポーツ振興に貢献

さまざまな活動を通じて東京ヤクルトスワローズとの交流を深めてきました。これまで行ってきた取り組みを紹介します。

「田んぼアート」でつば九郎を描くことから始まった交流・連携事業。その後も、ファン呼び込む仕掛けとして、ファンと市民と一緒に田植えや稲刈りを楽しむ「スワローズ・ライスファームプロジェクト」や、ふるさと納税返礼品でも人気の「つば九郎米」の販売などが続きました。

そして、2013年には、つば九郎を「燕市PR隊鳥（長）」に任命し、都内を飛び出し燕市に初来燕を果たします。

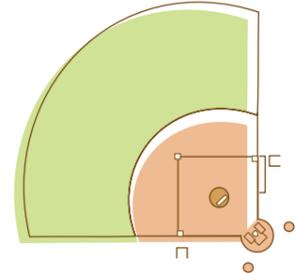
2015年には、明治神宮野球場で「燕市DAY」を初開催。約3万人の観衆の前で

燕市をPRしてきました。2023年には、市内小学生がダンスパフォーマンスを披露し、球場全体を盛り上げてくれました。毎年出展している「ファン感謝デー」の燕市ブースはファンから非常に人気を集めており、開店前から長蛇の列ができるほど。コラボグッズや農産物は全て完売し、大盛況となります。コラボグッズは、多くの市内企業などが開発に参加し、つば九郎スプーンやつば九郎焼酎など多くの人気商品が誕生しています。

特筆すべきは、PR活動に

限らず、スポーツ振興の一環として野球教室や少年野球大会を開催していることで、現役選手や球団OBが参加し、地元の子どもたちに野球の素晴らしさや楽しさを伝授。これにより、子どもたちに夢をもたらし、次世代を担う子どもたちの成長に貢献しています。「つばめ」が紡ぎ出す縁は、燕市のファンづくりにだけでなく、子どもたちの未来へ一肌脱いでいます。

これからも、地域へ呼び込む仕掛けと地域との関わりを創出し、「つばめファン」の増加を目指していきます。



これまで行ってきた主な取り組み

- 1 東京ヤクルトスワローズカップ少年野球大会**
東京ヤクルトスワローズに縁のある「愛媛県松山市」、「宮崎県西都市」、「沖縄県浦添市」との4都市間で2013年から少年野球交流大会を開催しています。
- 2 つばみダンス教室**
統合を控えた旧松長小学校と小中川小学校の交流を深めることを目的に開催。子どもたちは練習を積み重ね、「燕市DAY」でダンスを披露しました。
- 3 スワローズ・ライスファームプロジェクト**
燕市役所付近の田んぼで2012年からさまざまなゲストを呼び、田植えイベント・稲刈りイベントを開催し、ファン同士の交流を図っています。これまで約2,400人が参加。
- 4 つばめ野球クリニック**
市内の少年野球チームを対象に野球教室「つばめ野球クリニック」を2015年から開催しています。現役選手やOBが直接指導を行い、延べ約1,400人の子どもたちが参加。
- 5 ヤクルトスワローズ新潟支会つばめ会**
県内外問わず、東京ヤクルトスワローズを支援する人で結成された会。イベント情報をいち早く配信するほか、イベント毎にさまざまな会員特典が付与されます。(6月末時点の会員数 843人) 会員登録はこちら▶





鈴木 敏也さん 彩さん 夫婦
東京都在住

スワローズ愛で深まる燕市への愛

私たちは、「スワローズ・ライスファーム」をきっかけに燕市を訪れました。燕市は豊かな自然、楽しいイベント、美味しい食べ物、地場産品などのさまざまな魅力がある地域だと思います。燕市のファンとなり、我が家には、燕市産のものが少しずつ増えてきています。

燕市の人たちの温かさに触れ、故郷に帰ってきたような気持ちになるとともに、つば九郎や東京ヤクルトスワローズとの強い絆を感じています。都内からのアクセスもよく、これからもさまざまな企画やイベントが楽しみです。



渡辺 和馬 さん
県内在住（燕市出身）

県外ファンに広がる燕市の魅力

燕市と東京ヤクルトスワローズの交流・連携事業により、ファン同士の交流の輪が広がったと実感しています。スワローズ愛で繋がった遠方のファンが燕市へ足を運ぶようになり、ふるさと納税で寄附したという仲間の声を聞くことも多くなりました。県外のスワローズファンの皆さんにも、燕市の魅力に気づいていただけたようです。

今後はスワローズ目的ではなく、燕市の観光や特産品を目的に、足を運んでくれる県外ファンが増えるよう市民目線でも発信して、口コミを広めていきたいと思っています。

ファンに聞いた。交流・連携事業の魅力と成果とは？

燕市と東京ヤクルトスワローズがともに展開してきた、これまでのさまざまな取り組み。そこに参加してきた県内外のファンの皆さんにインタビューをしました。

interview

つば九郎もやってくる！ スワローズ・ライスファーム稲刈りイベント参加者募集！

プロ野球・東京ヤクルトスワローズのマスコットで燕市 PR 隊鳥（長）の「つば九郎」が田んぼのオーナーとして来燕。東京ヤクルトスワローズ OB の五十嵐亮太さんを招き、稲刈り体験やトークショーを行います。

時 **9月15日(日)** ※小雨決行
午前 10 時～ 開会式
午前 10 時 10 分～ 11 時 稲刈り体験
午後 1 時～ 五十嵐亮太さんトークショー
午後 2 時 45 分～ つば九郎筆談トークショー

イベント	ところ	定員
稲刈り体験	燕市役所 南側田んぼ	60 人（見学自由）
トークショー	燕市文化会館 大ホール	650 人

- 服装 稲刈りできる服装でご参加ください。
- 申込期間 8月16日(金)～22日(木)まで
- 申込方法 市ホームページの申込フォームから



五十嵐亮太さん つば九郎

◀申込み・詳細はこちら

☎地域振興課 交流推進係 ☎ 77・8364

時 8月17日(土) 午後6時～
所 明治神宮野球場
内 燕市 PR ブースでの販売
磨き体験
燕市 PR 大使の始球式
他 イベントの詳細はこちら▶

8月17日(土)は燕市DAY

— 3万人の前で燕をPRしてきます —



燕市を背負って
全力でPRします！



今年の始球式は燕市 PR 大使で BSN アナウンサーの大塩綾子さんが行います。大塩さんは、「燕市を背負って、始球式はノーバウンドで投げ切りたい。また、世界に誇れる燕の製品を知ってもらえるように PR します」と意気込んでいます。本番に向けて現在特訓中です。



▲コラボ商品の一つであるステンレスエコカップ

BSN 新潟放送 黒崎貴之さん

大塩さんと一緒に「BSN NEWS ゆうなび」のキャスターを務めるアナウンサーの黒崎さん。同僚の大塩さんの練習をサポートしていただきました。「羞恥心を捨てて、思いっきり全力で投げる！ その姿が燕市の PR につながる」とアドバイスをしていました。

今年の始球式は、私がつとめます！

燕市 PR 大使 大塩綾子さん

燕市吉田出身。6歳から大学時代まで剣道を続け、全国大会では団体戦3位の成績を残す。大学卒業後、BSN 新潟放送に入社。2023年9月から燕市 PR 大使として活動中。

